

# RSウイルスワクチン 定期接種のお知らせ

接種費用  
無料



対象者：妊娠 28 週から 36 週 6 日目までの方

接種回数

妊娠ごとに **1 回**

接種方法

筋肉内に接種

ワクチンの  
効果

ワクチンの接種により、お母さんの体内で抗体が作られ、胎盤を通じて赤ちゃんに移行し、生まれてくる赤ちゃんのRSウイルス感染症を予防することができます。



注意点

- \* 接種後 14 日以内に出生した乳児におけるワクチンの有効性は確立されていないため、妊娠 28 週以降、早めの接種をご検討ください。
- \* 接種日時時点で台東区から転出した場合は、台東区の予診票をお使いいただけません。転出先の区市町村で、予診票の発行申請をしてください。

## RSウイルス感染症とは？

症状は、軽い風邪のような症状から重い肺炎まで様々です。生後 6 ヶ月以内に感染した場合には、細気管支炎や肺炎等重症化することがあります。

## ワクチンの同時接種について

医師が必要と認めた場合には、他のワクチンと同時に接種することができます。また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

## ワクチンの副反応

接種後に注射した部分の痛み、頭痛、筋肉痛等がみられることがあります。こうした症状の大部分は、接種後数日以内に回復します。まれにアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が起こることがあります。

もし、アナフィラキシーが起きたときには、医療機関ですぐに治療を行うこととなります。

## 里帰り等により 23 区外で接種した費用の助成について

里帰り等の事情により 23 区外の医療機関で接種を希望する場合は、申請により接種費用の全部または一部を助成します。（接種費用と助成上限額を比較していずれか低い金額を助成します。）

- 費用助成を利用するために、あらかじめ「**予防接種依頼書**」の申請が必要になります。依頼書を申請してからお手元に届くまで 1～2 週間程度かかりますので、余裕をもって申請してください。
- 接種後に依頼書を申請した場合は、費用助成の対象外となりますので、必ず**接種日前**に申請してください。
- 申請前に、里帰り先の自治体へ依頼書の宛先（区市町村長または医療機関）、費用助成の有無を確認してください。



▲申請方法は  
こちら

## 接種場所・持ち物

### ■接種場所 23区内の協力医療機関

- \*台東区内の協力医療機関は、同封の「RSウイルスワクチン定期予防接種協力医療機関一覧表」、またはホームページをご覧ください。
- \*医療機関により予約が必要な場合があります。必ず事前に確認してください。
- \*他22区協力医療機関で接種をご希望の方は、各区の保健所または接種する医療機関に直接お問合せください。



▲ホームページはこちら

- ### ■持ち物
- ①予診票
  - ②本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証等）
  - ③母子健康手帳
  - ④診察券（初診の場合を除く）

## 予防接種を受けられない方

- (1) 明らかに発熱のある方（37.5℃以上）
- (2) 重い急性疾患にかかっていることが明らかな方
- (3) 今回受ける予防接種または予防接種に含まれる成分で、アナフィラキシー（接種後約30分以内に起こる重いアレルギー反応）を起こしたことがある方
- (4) その他、接種するには不適當な状態と医師に判断された方



## 主治医に相談しなくてはならない方

- (1) 今までにけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある方
- (2) 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気やその他慢性の病気などで治療を受けている方
- (3) 過去に免疫不全と診断されている方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- (4) 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギー症状が疑われる症状が出た方
- (5) ワクチンに含まれる成分に対してアレルギーがあるといわれたことがある方
- (6) 血小板が少ない方、出血しやすい方や抗凝固療法を受けている方
- (7) 授乳中の方
- (8) 妊娠高血圧症候群にかかったことがある方、または、発症リスクが高いと医師が判断している方

## 接種前の注意

予防接種について、効果や副反応のリスクをよく理解したうえで接種をするか判断してください。気にかかることや分からないことがあれば、接種を受ける前に担当の医師にお尋ねください。

**予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大事な情報です。接種を受ける方ご自身で記入し、正しい情報を接種医に伝えてください。（体温は医療機関で接種前に測ります。）**

## 接種後の注意

- (1) 接種後30分位は、アナフィラキシーなど急な副反応が起こることがあります。医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- (2) 注射した部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすらないようにしましょう。
- (3) 接種当日は、激しい運動や過度の飲酒は避けましょう。
- (4) ワクチンの副反応の多くは、接種後数時間から数日後に出現しますので、特にこの間は注意してください。

## 健康被害救済制度について

この予防接種による副反応により、生活に支障が出るような障害を残すなど健康被害が生じた場合、予防接種法に基づく救済を受けることができます。（国が認定した場合に限ります。）

対象は、**接種を受けた本人と出生した児**になります。

【お問合せ】 台東保健所 保健予防課 予防担当 電話 03-3847-9471

〒110-0015 台東区東上野4丁目2番8号（土・日・祝日・年末年始を除く 8:30～17:15）